

EGR率計測 EGR 5230アナライザー

特徴

- O₂センサーを2つ利用してEGR率を算出
- 燃料タイプ：H:C、O:C、及びN:C（比率は可変）及びH₂
- 応答時間：1000ms以下
- 計測値：直接CAN出力もしくはアナログ出力
- %EGR, λ, A/F, インテイクO₂, 排気O₂, インテイク圧力、排気圧力を計測



ECM ENGINE CONTROL
AND MONITORING

製品仕様

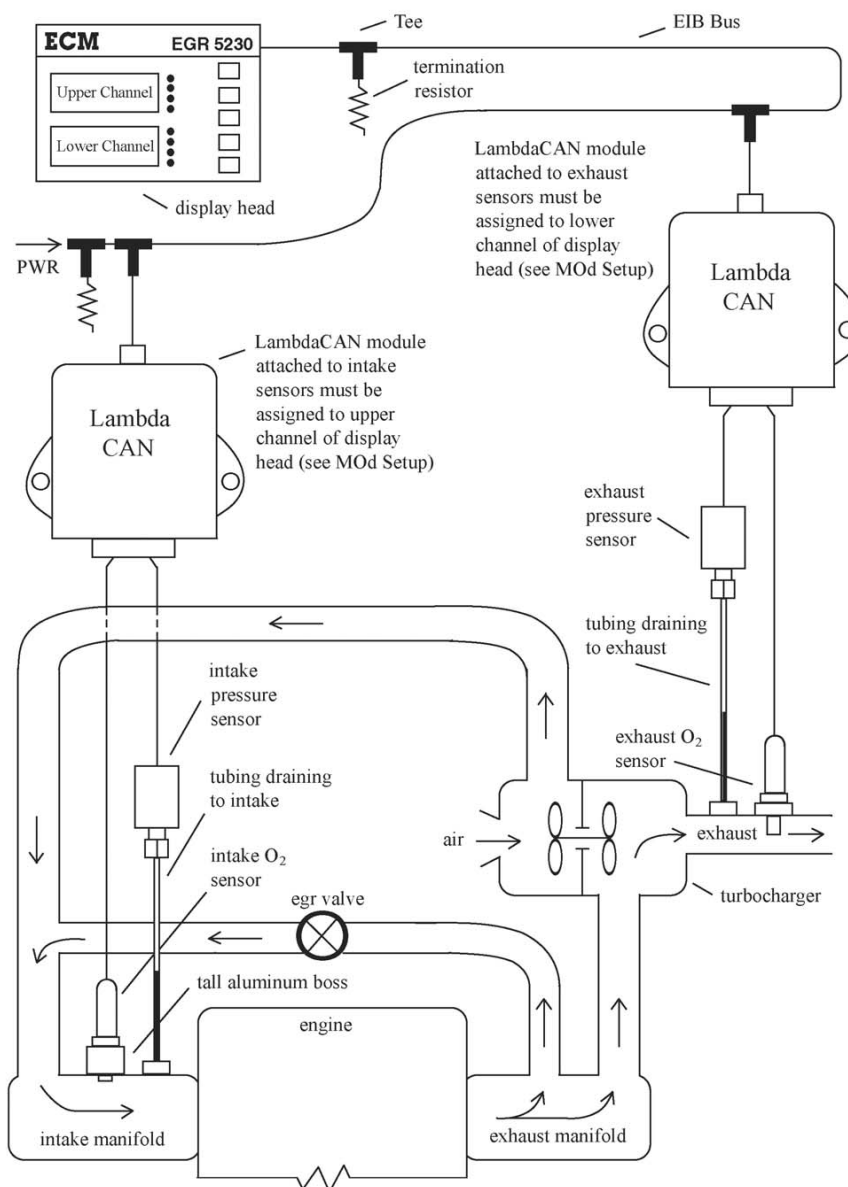
項目	仕様
応答速度	%EGR 1000ms以下 λ, O ₂ , A/F, φ, 圧力: 150ms以下
燃料タイプ	H:C、O:C、N:C（比率は可変）及びH ₂
駆動電源	11-28 VDC、定格1.2A (5A 1min暖気時)
センサー取付部	λセンサー：18mm x 1.5mmネジ 圧力センサー：1/4" NPT
寸法	105mm x 64mm x 165mm (WxHxD)
動作温度範囲	CANモジュール：-40℃ ~ +85℃
EGR	計測レンジ：0 - 100% 計測精度：±0.5%
λ,A/F,F/A,φ,O ₂	LambdaCANpと同仕様
圧力	計測レンジ：0 - 517kPa 計測精度：±0.7kPa
CAN出力	CAN 2.0A ISO 11898準拠 ECM ConfigurationソフトでCAN設定可能
アナログ出力	6ch 0-5V %EGR,λ,A/F,φ,O ₂ その他の計測値を自由に指定
CAN出力	CAN 2.0A ISO 11898準拠 ECM ConfigurationソフトでCAN設定可能

EGR計測

EGR率の計測は、NOx抑制のため大変重要なパラメータです。また従来ではEGR率の計測は複雑且つ困難でした。

EGR5230は、2つのλセンサー及び圧力センサーを使い、EGR率を計測して出力します。インテイクマニフォールド側と排気マニフォールド側にそれぞれλセンサーと圧力センサーを取り付けることにより、EGR率を測定します。システム構成は単純であり、応答速度は1秒以下です。

EGR率以外にλセンサー及び圧力センサーで計測できる他のパラメータについても、CANバスに直接出力することも出来、アナログ出力(0-5V)でも出力できます。



ECM ENGINE CONTROL
AND MONITORING

ATI

問い合わせ先

ATI Japan

〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-9-7

フロンティア新宿タワーオフィス 304

Email:sales_jp@accuratetechnologies.com

TEL:03-6868-4298 Fax:03-4363-7100